

城下町ひこねの地域資源である町屋で、
まちを元気に、思いをつなぎます



創刊号 (平成 27 年春)

発行
小江戸ひこね町屋活用
コンソーシアム

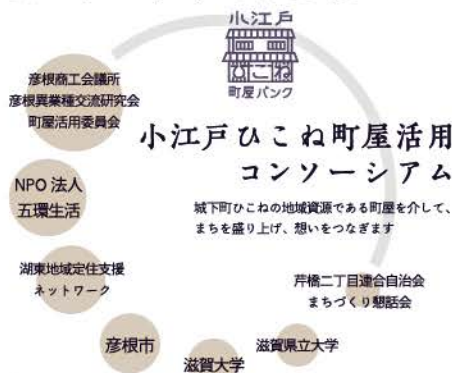
定期通信
「ひこね町屋
かわら版」

はじめます

小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムは、平成25年の設立から二年余りが過ぎ、町屋バンクとして売買取引、賃貸の仲介のみならず、イベント、視察、広報活動を行ってきました。今後は更に活動の幅を広げ、より多くの方に関心を持って頂くため、定期的にこのような瓦版を作成致します。今後とも本活動をご支援下さいますようお願い申し上げます。

小江戸ひこね町屋活用コンソーシアムとは

彦根の地域資産である町屋や古民家の利活用を目的とし、彦根商工会議所彦根異業種交流研究会、彦根市、滋賀大学、滋賀県立大学、聖泉大学、五環生活、湖東地域定住支援ネットワーク、芹橋二丁目連合自治会まちづくり懇話会により発足しました。町屋所有者と活用希望者のご縁を結び、彦根のまちを古き良き風情と活気あふれる三方よしのまちづくりを目指し活動しています。



事業内容

- ・ 空き町屋の情報収集・発信
(小江戸ひこね町屋情報バンクの運営)
- ・ 空き町屋所有者および活用希望者に対する相談・コンサルティング
- ・ 空き町屋の管理業務
- ・ 空き町屋の利活用に係わる調査・研究
- ・ 町屋保全のためのイベントの企画・開催

町屋でお困りの方、ご連絡下さい！

小江戸ひこね町屋情報バンクでは、彦根の伝統的な町屋建築物を活用し、歴史あるまちなみを守るために、利用希望者さまのシチュエーション別に3パターンでのメニューを設定しています。町屋を借りてみたい方への情報提供をはじめ、町屋を所有されている方のニーズに合わせた、きめ細かい対応をさせていただきます。

<p>町屋に住んでみたい！ お店を始めたい！</p> <p>空き町屋を 借りたい方・買いたい方</p>	<p>空き町屋を所有。 活用したい！</p> <p>空き町屋を 貸したい方・売りたい方</p>	<p>空き町屋は管理が大変で困っている！</p> <p>空き町屋の管理が 重荷と感じている方</p>
---	---	--



空き店舗・スペースマッチング&フリー見学イベント「おむすびの会」を「こはん家くまぐま(彦根市河原2丁目)」にて開催しました。当日は18名が参加下さり、開業者トーク・6件のフリースペースの説明は熱心に耳を傾け、その後のフリータイムでは各スペースを説明して下さったゲストの方々、スタッフもふくめて、自己紹介や情報交換などが行われました。終了後物件見学をされた方もいらつしや、今後新しいことがはじまりそうな予感も感じることができました。

おむすびの会

10/4 町家×日本酒×学生

日本酒造りに取り組み、「町家キャンパス」で地域活性化を目指す県内の3大学の活動を紹介するフォーラムを、龍谷大瀬田キャンパスと長浜バイオ大、滋賀県立大のグループが参加し、「こはん家くまぐま(彦根市河原2丁目)」にて開催しました。

各大学の取り組みを、それぞれ発表、会の後には懇親会も開催し、それぞれのお酒を飲みながら交流を深めました。

活動報告 2014 イベント報告

1/25

協賛企業のご紹介

株式会社 永樂屋

vol.01

当コンソーシアムの活動にご協賛いただいている企業さまをご紹介します。「協賛企業レポート」。第一回は一九〇余年にわたり伝統産業「彦根仏壇」を支えてきた老舗の仏壇店「永樂屋」さんを訪ねました。

七曲がりと言えば仏壇のまちとして古くから有名ですが、創業時期と御社の沿革について教えていただけますか。

文政3年(1820)創業です。江戸後期、徳川幕府が安泰で戦がなく、武器から仏壇づくりに転身した職人がここ七曲がりに集まり住んだと伝わっています。お城へ攻め入る敵を防ぐために何度も直角に曲がる通りで、「彦根仏壇」は発展してきました。当社は「工部七職」と呼ばれる7工程の職人技を集結した製造から販売までを一貫して行っています。

近年の七曲がりのまちはいかがでしょうか。

町屋を改修した新しいお店や場所がで



〈お話を伺った宮川副社長(右から2番目)とスタッフのみなさん〉

き、新たな動きを感じています。貴重な遺構が残ることは喜ばしいです。個々の思いや活動といった点が集まって線となり、その線が繋がって面となり彦根がもつ魅力的な線はと願っています。

彦根の風景や町並みについて、どんな想いをもちでしょうか。

全体としてみると、まだまだ整備が必要だと感じます。彦根の城下町は長い歴史の上でできたもので、町並みはいちど壊すと元には戻りません。この財産をどう活かすかが課題です。そのアプローチのためには市民ひとり一人が意識を高めることも一つではないでしょうか。まず、当たり前にある地元の良さを知り、次世代へ引き継ごうという思いをつくるのが大事だと思います。

当コンソーシアムの活動にメッセージをいただけますでしょうか。

異業種の連携に期待しています。観光、文化、交通、建築、ITなどさまざまな分野の人々が関わることで、それぞれの知識や技術が活かされた、建物だけではなく暮らしを含めた住み良いまちになるといいですね。



事業内容：仏壇の製造、販売、寺院施工
所在地：彦根市芹中町40 電話：22-1466
ホームページ：http://www.eirakuya.com/

HPからの便り

〈ひこねまちコラム〉 第一話 大正ロマンを次世代へ… 秋口家住宅洋館ストーリー〈解体編〉



その洋館は住宅地のなかで独特の存在感があった。異人館や大正ロマンを思わせる外観が魅力的な『秋口家住宅洋館』、建築されたのは大正5年(1916)で平成23年(2011)に国の登録有形文化財になっている。当初は歯科医院として、施主が地元の大工職人を神戸の異人館へ連れて行き、その様式を真似て建てられたという。玄関上に外扉があり、バルコニーがあったのではないかと想像できる外観、1階は住居、2階に診察室、待合室、技師室などが残っている内観。2015年現在、もうすぐ築100年の歴史を刻もうとしている…

- 完全版コラムはHPにて！ぜひご覧下さい！ -



編集後記

当コンソーシアムではこれまで、HP やフェイスブックといった WEB 媒体を中心に情報発信を行って参りましたが、今期より、より幅広い世代の方へ活動を知っていただくため、定期通信・ひこね町屋かわら版の配布を行っていきます。当団体に興味を持っていただいたり、町屋に関する情報をお持ちでしたら、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

発行・お問合せ：
小江戸ひこね町屋活用コンソーシアム事務局
事務局所在地：滋賀県彦根市河原二丁目2-38
電話：0749-23-2123 FAX：0749-26-2730
ホームページ：http://www.hikone-machiya.com
E-mail：info@hikone-machiya.com
最新情報は Facebook、HP に随時掲載中

求む！

空き町屋情報、
是非お寄せ下さい。

当バンクでは皆様の物件情報を募集しております。条件は昭和20年以前に建てられたものであること。お持ちの大切な町屋の管理にお悩みの方、お気軽にお電話ください。スタッフが丁寧に対応させていただきます。

町屋バンクの事務局をしております。西村眸と申します。普段は、滋賀原木という会社で社員をしております。会社の仕事と事務局の仕事をしております。彦根の大学に通っていたのですが、縁があつてそのまま彦根のまちで働いています。町屋バンクでは、窓口としてマッチング業務に携わっています。



西村 眸

町屋は長い時間を生きてきたというところもあり、いろんな人の物語や思いが幾重にも積み重なっています。次の方に大切に使用していただくように、うまく橋渡しをしたいと思います。

持主様と活用をご希望される方のご相談を受け付け、おつなぎさせていただきます。

スタッフ紹介 vol.1